

平成26年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成26年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成27年度事業（案）について

- ア 展覧会

(3) 長期展覧会計画（案）について

(4) 岡山県立博物館中期目標の達成状況について（平成25年度）

(5) 第2次岡山県立博物館中期目標（案）について

(6) その他

- ・来館者アンケート結果について

3 閉会

日時：平成26年8月24日（火） 14：30～16：30

会場：岡山県立博物館 「講堂」

平成26年度年間展示計画 一覧表 (案)

平成26年6月24日現在

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)	オープン スペース
(3/25)~4/20 春季展 (2) 24(27)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	岡山の仏像 岡山の古刹 海中の古備前 (撞鉢と壺) 岡山の仏像 岡山の宗教家~重源と栄西 中世流通の発達 足利將軍の古文書	雛人形 旅と巡礼 花交の池木樋管 御舟入公開記念 池田家関連資料 村や町の古文書 花交の池木樋管 御舟入公開記念 池田家関連資料 はこぶ	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼一歴史と「只今 よみがえった備前刀 ☆<特別陳列>重要文化財 色々威甲冑 備前焼名品選	雑飾り ちやぶ台 のある風 景 五月人形
5/23~6/29 特別展 (1) 33(38)日					
7/4~7/27 夏季展 (1) 21(24)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	岡山の仏像 中世の商品流通 浦上氏資料 ☆<特別陳列>西大寺古本縁起	城下町岡山と池田氏 江戸時代のお金 ☆<特別陳列>備中高松城の水攻め	よみがえった備前刀 戦国時代の備前焼	ちやぶ台 のある風 景
7/31~9/7 企画展・夏季展 (2) 33(38)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	岡山の城と戦国武将	城下町岡山と池田氏 江戸時代のお金 備中高松城の水攻め	戦国時代の備前刀 戦国時代の備前焼	城関係 ピテオ
9/11~10/5 秋季展 (1) 22(25)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 - H24 ☆<特別陳列>大地からの便り	木簡 吉備真備 岡山の宗教家 岡山の宗教美術	花交の池木樋管 (検討中)	戦国時代の備前刀 徳利・とつくり・トックリ(備前焼)	ちやぶ台 のある風 景(花こ ぎ)
10/10~11/16 特別展・(2) 秋季展 (2) 33(38)日	池田綱政300回忌記念 護国山曹源寺		後楽園の名品 花交の池木樋管 (検討中)	神に捧げられた刀剣 徳利・とつくり・トックリ(備前焼)	ちやぶ台 のある風 景
11/21~12/25 冬季展 (1) 29(35)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	(検討中)	(検討中)	神に捧げられた刀剣 細工物-備前焼- ☆<特別陳列>幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東	ちやぶ台 のある風 景
1/1~1/12 冬季展 (2) 11(12)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	(検討中)	(検討中)	神に捧げられた刀剣 ☆<特別陳列>赤韋威鎧 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物-備前焼-	ちやぶ台 のある風 景
1/16~2/15 交流展・冬季展 (2) 28(32)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	岡山・高知文化交流事業 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	(検討中)	備前・備中・備後の刀剣 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物-備前焼-	ちやぶ台 のある風 景
2/19~3/22 春季展 (1) 28(32)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	(検討中)	(検討中)	備前・備中・備後の刀剣 岡山のやきもの	ちやぶ台 のある風 景
3/24~(4/19) 春季展 (2) 24(27)日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	(検討中)	(検討中)	岡山の新刀・新々刀 岡山のやきもの	ちやぶ台 のある風 景

平成26年度事業計画

ア 展覧会

事業名	特別展 「山田方谷」
期間	平成26年5月23日(金)～6月29日(日)
趣旨	幕末から明治にかけて活躍した儒学者山田方谷を顕彰した。方谷の生涯を追いながら陽明学者として、政治家として、そして教育者としての角度から様々な資料を紹介した。また、方谷の師や門人など関係者についても紹介した。
主要展示資料	山田方谷書状（三島中州宛） 江戸時代 二松学舎大学蔵 佐藤一斎肖像 江戸時代 東京国立博物館蔵 「塵壺」 江戸時代 長岡市中央図書館
関連行事等	①記念講演会「山田方谷と河井継之助」 ②記念講演会「高弟三島中洲の見た山田方谷」 ③学芸員による展示解説
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	企画展 「岡山の城と戦国武将」 同時開催「正子公也戦国武将画展」
期間	平成26年8月7日(木)～9月7日(日)
趣旨	県内の主要な城跡を取り上げ、最新の発掘調査や歴史研究の成果とともに、関連する武将や合戦についての歴史資料を展示し、地域の歴史を物語る貴重な文化財である城の魅力を紹介する。併せて岡山県出身で歴史・武将イラストの第一人者である正子公也氏が描いた戦国武将画を展示して、幅広い世代が歴史に親しんでもらう機会とする。
主要展示資料	岡山城出土品 安土桃山時代 岡山市教育委員会蔵 ○法泉寺文書（伊勢盛時禁制） 室町時代 法泉寺（井原市）蔵 刀 源兵衛尉祐定（浦上宗景注文打） 室町時代 個人 ※正子公也作品は描き下ろし新作4点を含む約35点を展示
関連行事等	①「岡山の城と戦国武将」 特別講座 第1回「正子公也 戦国武将トークライブ&サイン会」 第2回「戦国山城を攻略する！キャスリング入門」 第3回「再発見！ふるさとの山城－岡山県中世城館跡総合調査成果報告－」 ②「歴史体験★岡山城を探検しよう！」 ③博物館クイズラリー ④学芸員による展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料（1室使用）

事業名	池田綱政公300年遠諱記念事業 おかやま教育の日協賛事業 特別展 「護国山曹源寺」		
期間	平成26年10月10日(金)～11月16日(日)		
趣旨	岡山市中区円山に所在する曹源寺(山号:護国山)は、岡山藩主池田綱政が高祖父池田恒興と父、池田光政の冥福を祈るため、池田氏の菩提寺として元禄11(1698)年に建立した。曹源寺には歴代藩主の直筆の写経や和歌、絵画や書跡・典籍など膨大な文化財が所蔵されている。 平成26年は曹源寺を建立した池田綱政の300回忌にあたることから、曹源寺の寺宝を一堂に集め、その歴史や池田氏との関わりを紹介する。		
主要展示資料	開山国師関山慧玄頂相	享保12(1732)年以前	曹源寺蔵
	護国山曹源寺境内図	宝永5(1708)年	曹源寺蔵(市指定重要文化財)
	十六羅漢木像	江戸時代前期	曹源寺蔵
	池田家藩主肖像彫刻(全6軀)	江戸時代	曹源寺蔵(市指定重要文化財)
関連行事等	①特別講座「曹源寺」 第1回 10月19日「禅の心」 第2回 10月26日「池田綱政と曹源寺」 第3回 11月2日「近世の肖像彫刻」 ②ウォークラリー『曹源寺の文化財を訪ねる』 11月9日 ③学芸員による展示解説 ※実行委員会形式で実施		
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料 (2室使用)		

事業名	交流展 岡山・高知文化交流事業「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」		
期間	平成26年1月16日(金)～2月15日(日)		
趣旨	高知・岡山の両県に伝わる考古・歴史・民俗・美術等の文化財を貸借・展示し、歴史や文化を相互に紹介する。最終年は、四国統一を成し遂げた長宗我部氏と備前の宇喜多氏を取りあがらる。それぞれの地域で強大な戦国大名となり、豊臣政権を経て関ヶ原の戦いで勢力を失う両者を比較し、またその接点を紹介する。		
主要展示資料	絹本著色長宗我部元親像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(重要文化財)
	長宗我部元親坐像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(県指定重要文化財)
	宇喜多能家画像	室町時代	岡山県立博物館蔵(重要文化財)
	紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足	室町時代	瀬戸内市 大賀島寺蔵(県指定重要文化財)
関連行事等	①記念講演会 ②最新研究報告「石谷家文書について」 ③ボランティアによる展示ガイド ④学芸員による展示解説		
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)		

イ 教育普及事業

事業名	「吉備の国文化遺産映像記録作成事業」〈H24～H26〉
期間	平成26年4月～平成27年3月
概要等	<p>小・中学校の補助教材としてテーマ別に岡山の歴史や文化を概観することができるとともに、来館者が本県の歴史や文化に対する理解を深められるような映像資料を年次計画で作成する。</p> <p>〈年次計画と主なテーマ(案)〉 ※3年間で30テーマを作成</p> <p>H24 ①－閑谷学校－日本最古の庶民の学校 ②日本のたから・赤韋威鎧 ③備前刀 他</p> <p>H25 ①い草の芸術 ②児島湾と新田開発 他</p> <p>H26 ①岡山の巨大古墳 ②古代の山城－鬼ノ城－ ③朝鮮通信使と牛窓 他</p> <p>〈成果物〉 3月下旬に公開予定</p> <p>3分程度のチャプター構成とし、館内モニターでの放映及びHPから閲覧可能な形式とする。</p>

事業名	「ジュニア学芸員講座」
期間	平成26年8月5日(火)～7日(木)
概要等	<p>県内の中学生及び高校生が、館内で資料や機器の取り扱い等、学芸員の基礎的な業務を学び体験し、発掘現場でも実地体験をすることなどで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来的に学芸業務を仕事の選択肢としても考える機会を提供する。(3日間開講)</p> <p>◇夏期休業中の3日間、講義・実務・研修を通じ認定証(館長名)を発行する。</p> <p>1日目 開講式、マナー学習、博物館学の研修等〈軸物資料の巻き方、刀剣の扱い方等〉</p> <p>2日目 他館・現地等訪問〈鬼ノ城見学、他館での資料借用等〉</p> <p>3日目 展示の演習、来館者への対応、機器の取扱い(資料の写真撮影)等、閉校式〈認定証〉</p> <p>※参加者 高校生12名 中学生2名 計14名</p>

事業名	館内授業・出前授業
期間	平成26年4月～平成27年3月
概要等	<p>県内の小中高生等が、館内で実際に資料に触れたり、展示を見学する。また、学芸員が学校や古墳等の史跡へ出向き授業を行う。</p> <p>①歴史:吉備の古墳の世界 ②民俗:体験!昔の暮らし ③工芸:備前焼を知ろう 等</p>

事業名	吉備の国ジュニア歴史スクール
期間	平成26年6月～12月
概要等	<p>県内の歴史と文化に関わる小学生向けテーマを設定し、第1日は、バスで文化財の現地見学を行い、第2日は、県立博物館での実物資料を用いた授業や展示室等の見学などにより、文化財や博物館に親しむ機会を提供する。第3日は、各学校で学習の成果をまとめ博物館と学校との連携を図る。</p> <p>「江戸時代の教育 閑谷学校体験コース」:新庄村立新庄小学校3年～6年生 31人</p> <p>「岡山の伝統技能 郷原漆器体験コース」:備前市立伊部小学校6年生 41人</p>

事業名	博物館講座
期間	平成26年6月～11月
概要等	<p>当館職員が講師となり学習する「スタンダードコース」と、第一線で活躍している研究者の講義により学習する「スペシャルコース」の2講座を実施する。(生涯学習大学連携講座)</p> <p>①スタンダードコース 4日間8講座(1日2講座、1講座2時間、火曜日・木曜日) 定員 各曜日70名、受講料1,000円 ※受講者数 116名 内容:近代化遺産の魅力について、地域と歴史－東日本大震災復興調査から－他</p> <p>②スペシャルコース 4日間4講座(1講座2時間)、定員 120名、受講料2,000円 内容:銅鐸の鑄造、岡山の産業と輸送他 ※受講者数 108名</p>

事業名	中学生職場体験
期間	平成26年10月～11月
概要等	<p>中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ</p> <p>・学芸業務や受付・看視等の仕事を体験</p>

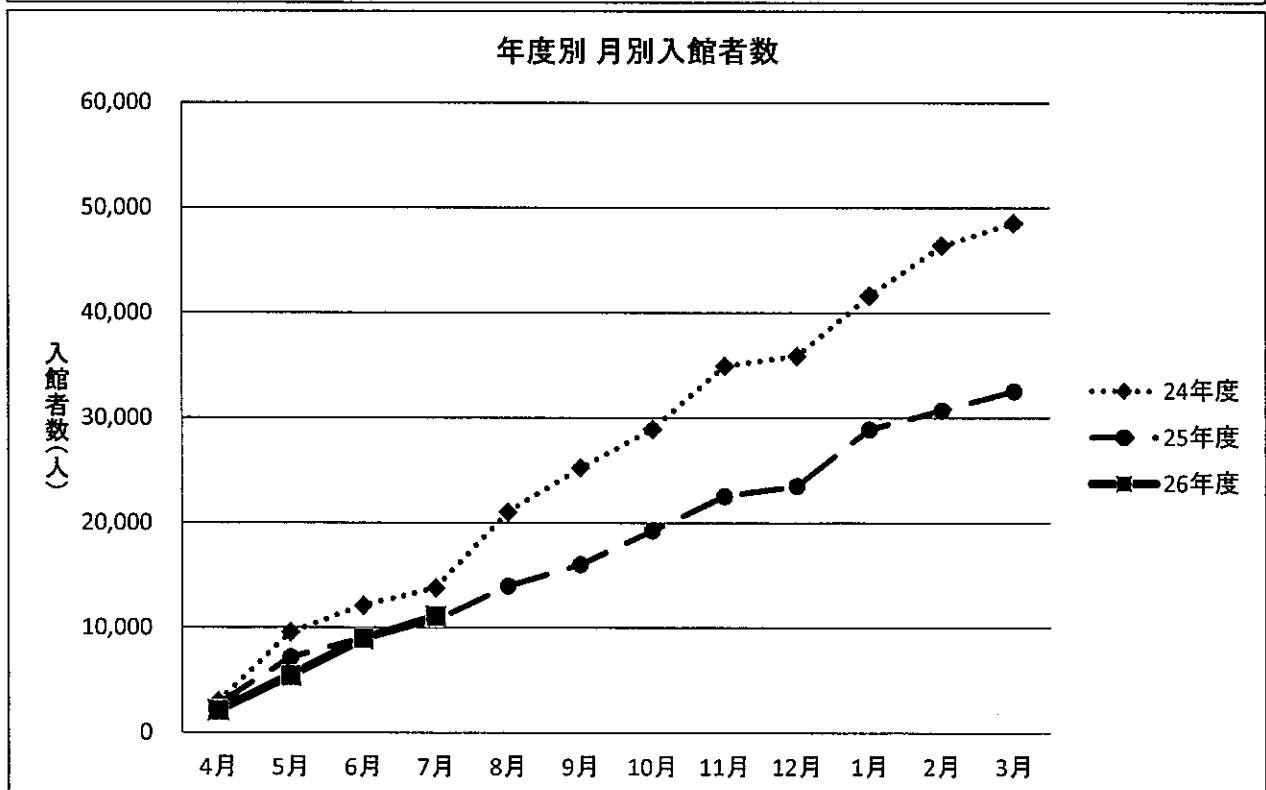
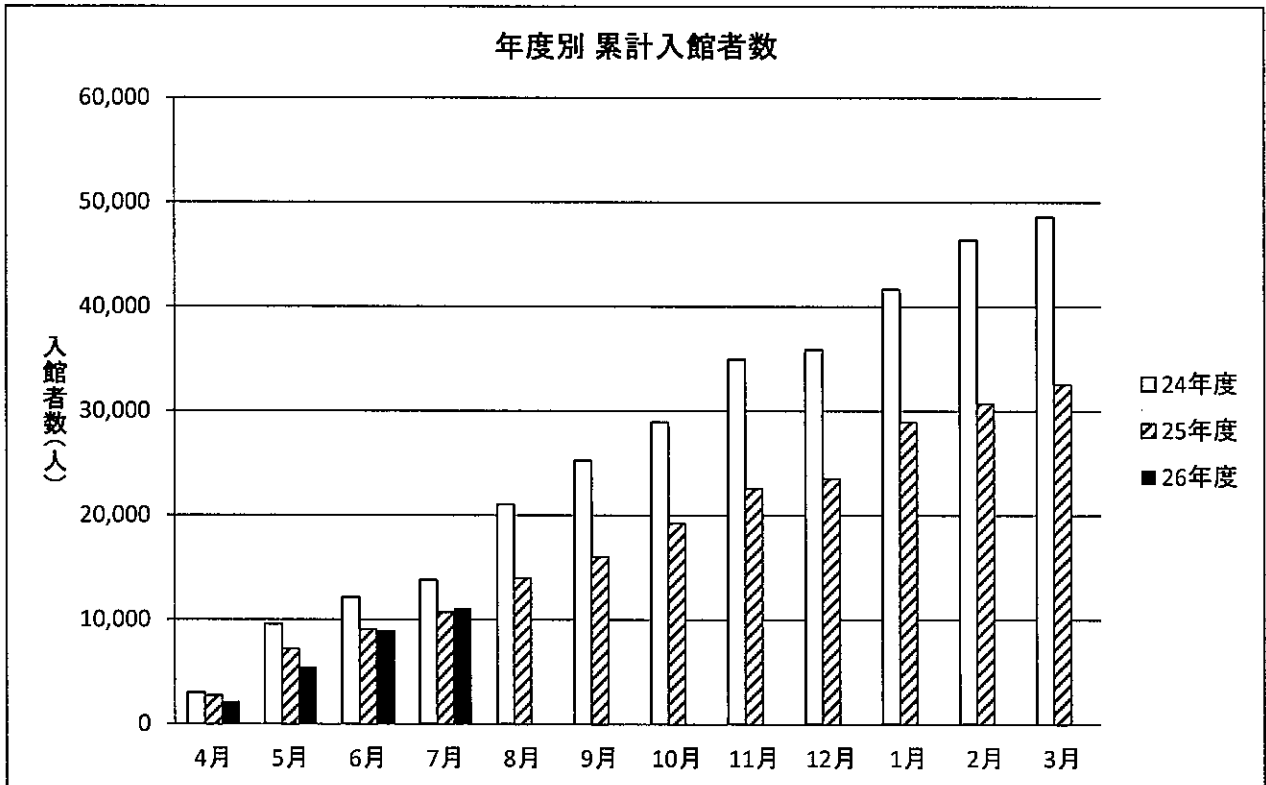
事業名	博物館実習
期間	平成26年8月19日、20日、21日、24日、31日
概要等	<p>博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する学生に対して、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。</p> <p>①講義実習(3日間) 学芸員の使命と実務、考古・文書・工芸資料等の特性と取扱い 等</p> <p>②支援実習(2日間) 特別講座「戦国山城を攻略する！キャスリング入門」、 特別講座「再発見！ふるさとの山城－岡山県中世城館跡総合調査成果報告－」</p> <p>③実習受講者数 10名</p>

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	7月末現在
24年度	3,005	6,577	2,555	1,671	7,234	4,203	3,684	6,018	955	5,746	4,742	2,194	48,584	13,808
25年度	2,737	4,444	1,898	1,639	3,268	2,033	3,238	3,288	994	5,390	1,800	1,822	32,551	10,718
26年度	2,151	3,306	3,510	2,119									11,086	11,086



平成27年度年間展示計画 一覧表 (案)

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)	オープン スペース
(3/24)～4/19 春季展 (2) 27 (24) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 近世岡山の書 桐下駄と繕木下駄	おかやまのやきもの	ちやぶ台 のある風 景
4/23～5/31 春季展 (3) 37 (32) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 ☆《特別陳列》「岡山を訪れた勤王の志士 ～坂本龍馬や久坂玄瑞の足跡～」	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景
6/2～7/12 夏季展 (1) 41 (36) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 ☆《特別陳列》「文人画の世界 ～浦上玉堂から黒田綾山まで」	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景
7/16～9/13 企画展・夏季展 (2) 60 (52) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	☆岡山カルチャーゾーン誕生30周年記念 企画展 岡山カルチャーゾーンの魅力	江戸時代の文化と芸術 後楽園の名品	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景
9/18～11/8 秋季展 (1) 52 (45) 日	☆特別展 破格一桃山備前一		江戸時代の文化と芸術 後楽園の名品	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景
11/13～12/23 特別展 (2) 41 (35) 日					ピデオコ ナー
☆特別展 発掘された日本列島2015					
1/1～1/17 冬季展 (1) 17 (15) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 十二支屏風	備前刀の歴史 細工物 (備前焼) ☆《特別陳列》「国宝 赤尊威鏡」	ちやぶ台 のある風 景
1/22～2/21 冬季展 (2) 32 (28) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	岡山県・鳥取県交流事業 ☆交流展「鳥取藩池田家32万石」	江戸時代の文化と芸術 農村の絵図と古文書	備前刀の歴史 細工物 (備前焼)	ちやぶ台 のある風 景
2/25～3/21 春季展 (1) 25 (22) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 ☆《特別陳列》「人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～」	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景
3/23～(4/18) 春季展 (2) 27 (23) 日	古代吉備の世界 - 岡山県内出土の考古資料 -	木簡・吉備真備・岡山の宗教家 古代・中世の文化と美術	江戸時代の文化と芸術 ☆《特別陳列》「人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～」	備前刀の歴史 備前焼の歴史	ちやぶ台 のある風 景

長期展示計画(案)

26		27		28		29		30		31	
2014	2015	2016	2017	2018	2019	2014	2015	2016	2017	2018	2019
戦国の城 -岡山の中世山城-	カルチャーゾーン30周年	匠の道具	岡山の鉄道	岡山の絵馬	ほとけのひみつ	池田綱政300回忌記念事業 護国山菅源寺	山田方谷	高知の歴史と文化Ⅲ(共同企画) 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (共同企画) 戦国大名 長宗我部氏と宇喜多氏	映像事業	
						備前焼	発掘された日本列島	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅰ 「鳥取藩池田家32万石」 (1~2月)			
						東寺百合文書の世界 -新見荘を中心に-	吉備の祈りと造形	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅱ 「古代伯耆・因幡の世界」			
						秀家と秀秋 ~秀吉の養子たち~	真金吹く吉備 -鉄くろがね)の美-	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅲ 「鳥取藩の絵師」	「池田光政 鳥取開府400年」		
						境界と領域 藩・国・郡・村の意識	桃山の美	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅰ)	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化Ⅰ)		
						備前と肥前 -刀と陶磁器-	岡山の戦国時代	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅰ)	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化Ⅰ)		

岡山県立博物館中期目標の評価に係る成果と課題

項目	評価	内容
資料の収集と保存・活用	成果	岡山県の歴史や文化に関する資料等を寄付・寄託により概ね目標どおり収集することができた。また、収蔵品の保存、活用もほぼ目標どおり行うことができた
	課題	岡山県の財政状況が厳しいため、定期的な資料の購入はできていない。また、収蔵品の補修も十分にはできていないのが現状である。
調査・研究	成果	各学芸員による調査テーマを設定しての調査研究、行った調査研究の成果の公表は、遺漏なく行うことができた。
	課題	外部研究機関等との連携が十分にはできていないため、今後、共同テーマによる連携を進める必要がある。
施設の整備・管理	成果	施設の老朽化が進む中、UD化は予定どおり実施することができた。また、危機管理も徹底して実施できている。
	課題	耐震化への取り組みが遅れており、耐震診断が未実施の状況にある。また、外国語による案内表示等利用環境を向上させる必要がある。
展 示	成果	岡山県の歴史や文化等をテーマとした特別展、企画展、交流展、平常展を計画どおり開催し、県民の文化や歴史、郷土に対する理解を深めることができた。
	課題	入館者数が、年による増減はあるものの低迷しており、入館者増に向け、県民の興味・関心を引く、その時期にあった企画による展示を行うことが必要である。また、展示方法についても、外国語による解説パネルを設置するなど、改善する必要がある。
教育普及・学校教育との連携	成果	博物館講座や館内授業、出前授業等により、県民への教育普及や学校との連携は概ね予定どおり実施することができた。また、新規事業としてジュニア学芸員講座を実施した。
	課題	低迷している入館者数を増やすため、館内授業や出前事業の充実など、更なる学校教育との連携を行う必要がある。そのため、博物館事業の内容等、きめ細かな情報発信を行うことも重要である。
県民参加の協働運営	成果	マスコミ等を活用しての広報活動は充実してきている。また、ボランティアの受入も順調に進んでいる。
	課題	ホームページのアクセス数が低迷しており、フェイスブックを含め、魅力あるホームページにする必要がある。また、博物館友の会の会員数が頭打ちになってきており、会員の掘り起こしを計ることも必要である。
組織・人員	成果	少ない人員ではあるが、職員の適正な配置を行うとともに、研修会への参加をとおして、学芸員の資質の向上を計ることができた。
	課題	より効率的な組織運営に努めるとともに、学芸員の積極的な研修会への参加等により、能力開発・資質向上に努めることが重要である。
総 合	成果	施設の老朽化及び収蔵品の増加による狭隘化が進む中、現有施設を有効活用することによる資料収集・保存・展示等は、概ね期待どおりできている。
	課題	より多くの人に県立博物館を利用してもらうよう、展示や展示以外の事業等の改善を行い、魅力ある、行ってみたい博物館にすることが必要である。また、博物館を知ってもらうための情報発信を積極的に行うことも重要である。

中期目標の達成状況評価

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施
 (2) 評価者 館全体で評価
 (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容
5	目標水準を大きく上回った。 140%以上
4	目標水準を上回った。 110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。 90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。 60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。 60%未満

- (4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

平成25年度の評価

項 目	H21	H22	H23	H24	H25
1 資料の収集と保存・活用	3	3	2	2	3
2 調 査 ・ 研 究	3	3	2	3	3
3 施 設 の 整 備 ・ 管 理	3	2	2	3	3
4 展 示	3	2	2	3	2
5 教育普及・学校教育との連携	3	3	3	4	3
6 県民参加の協働運営	3	3	3	3	3
7 組 織 ・ 人 員	2	2	2	3	3
総 合 評 価	3	3	2	3	3

■資料の収集と保存・活用 H24：2 → H25：3

・昨年同様、厳しい財政状況下では新規購入は難しく、また、資料の修復についても予算上の制約があり目標を下回ったが、寄託資料の受入や特別観覧利用件数の大幅増などで、収集・活用が図られた。

■展 示 H24：3 → H25：2

・関連事業の充実が図られたものの、各展覧会で大幅に入館者が減少した。

評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

- 1 来館者増を図るために、利用者アンケート等を参考に、一層魅力的な展示を企画・実施する。
- 2 入館者満足度の低い要因である、館内の空調（暑さ、寒さ）について、予算を考慮しつつ、できる限り開館時間中の空調稼働時間を確保する。

評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成25年度 実 施 結 果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	5点/年	0点/年	1
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け入れ件数	30件/年	30件/年	3
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け入れ件数	30件/年	6件91点/年	5
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検回数	12回/年	13回/年	3
	展示室の資料保存環境の点検	展示室等の定期点検回数	50回/年	50回/年 水替え	3
	収蔵スペース確保の検討	収蔵スペース確保の検討 整理・整頓	随 時 4回/年	随 時 4回/年	3
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	5点/年	2点/年	1
	資料の活用	収蔵資料展示点数	1,000件/年	2,757件/年	5
		特別観覧利用件数	100件/年	140件/年	4
		規程の整備	平成21年度中に整備	・特別観覧規程 ・貸出規程 H21 整備済	—
平均評価					3
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テーマの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年	3
		平常展、企画展、特別展の開催	12回/年	12回/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成25年度 実施結果	評 価
	調査研究成果の公表	博物館講座の開催	6回/年	7回/年	4
	外部研究機関等との連携	共同研究テーマ数	2件/年	1件/年	1
平均評価					3
3 施設の 整備・管理	UD化推進事業	エレベータ設置 玄関自動扉設置 点字ブロック敷設		(H20年度)	—
		来館者用トイレ改修		(H21年度)	—
		階段手すり改修 受付カウンター改修 休憩室整備 案内表示板設置		(H22年度)	—
	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画 の策定	緊急性の高い事 案から着手	7バス撤去 H21 展示室内クロス 貼り替え H21 排水管改修 H23 冷却装置交換 H25	— — —
		耐震化への取組		なし	1
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	12月13日 1月25日	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催	7月4日 9月2日 11月3日実施	3
		危機管理マニュアルの作成	国等の検討状況 を踏まえて対応	25年3月作成 全職員に配布	3
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	74%	2
平均評価					3
4 展 示	特 別 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	18千人/年 2回/年 5カ年計画策定	11,051人/年 2回/年 5カ年計画策定	2

目標項目		評価指標	中期目標値 (平成25年度)	平成25年度 実施結果	評価	
	企画展	入館者数	7千人/年	4,119人/年	2	
		実施回数	1回/年	1回/年		
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定		
	交流展	入館者数	7千人/年	6,758人/年	2	
		実施回数	1回/年	1回/年		
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定		
	平常展	入館者数	18千人/年	10,623人/年	1	
		特別陳列	1回/各季節展	1回/各季節展		
	各展共通項目	関連事業の充実	記念講演会	1回以上/1展覧会	1.5回/1展覧会	5
			実演等	2.5回以上/1展覧会	2.3回/1展覧会	3
展示解説	3回以上/1展覧会		4.2回/1展覧会	5		
	展示方法の改善	キャプション	改善	書体表記の統一 年号表記の統一 整備済	-	
		解説シート	30枚	24枚	2	
		外国語表記 (英語・中国語・韓国語) (名称等・キャプション、解説シート、展示ガイド、要覧)	英語・中国語・韓国語表記 名称等 1,900件 キャプション 200件 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	英語・中国語・韓国語表記済 名称等 1,946件 キャプション 254件 (過去実績254+0枚) 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	- - - - -	
平均評価					2	
5 教育普及・学校教育との連携	吉備の国ジュニア歴史スクール	実施コース数	2コ-3日/年	2コ-3日/年	2	
		参加児童数	120人/年	86人/年		
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数	8講座(2班)/年	8講座(2班)/年	3	
		参加受講者数	140人/年	126人/年		
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数	4講座/年	4講座/年	2	
参加受講者数		120人/年	100人/年			
体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	10点	23点	5		
館内授業	実施学校数	50校/年	44校/年	2		
	受講児童生徒数	2,500人/年	2,582人/年	3		

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成25年度 実 施 結 果	評 価
	出前授業	実施学校数	20校/年	27校/年	5
		受講児童生徒数	1,000人/年	1,923人/年	5
	歴史探検ツアー	実施コース	1コース/年	事業終了	—
		参加児童生徒数	40人/年		
	展示解説	聴講者数	30人/1解説日	15人/1解説日	1
	博物館実習	受け入れ学生数 実施要項の策定	20人/年 平成21年度ま でに策定	15人/年 H23 実施要項 改定	2
	中学生職場体験	受け入れ学校数	5校/年	10校/年	5
教職員研修	連携事業の実施回数	3回/年	4回/年	4	
吉備の国文化遺産映像 記録作成事業	作成テーマ数	10テーマ/年	10テーマ/年	3	
平均評価					3
6 県民参 加の協働 運営	広報活動	記者クラブへの資料 提供件数	30件/年	25件/年	2
		マスコミ取材件数 (新聞への掲載)	70件/年	113件/年	5
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	9%/年	2
	ホームページの充実	HPアクセス数	600,000件/年	109,579件/年	1
		内容の更新頻度	月1回以上	月1回以上	3
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	352人/年	2
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の81.7%	3
		友の会事業実施回数	20回以上	40回	5
		特別展等観覧者率	4.0%	2.7%	2

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成25年度 実 施 結 果	評 価
	ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア	6回/年 20人以上/年	11回/年 32人/年	5 5
		支援ボランティア	5回/年 20人以上/年	11回/年 26人/年	5 4
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数	1展覧会3団体 以上	1展覧会1.75団体	1
		連携博物館数	1博物館/年	2博物館/年	5
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3
		評価システムの検討	平成21年度中 に実施	平成22年度第1 回協議会で実施	—
	老人福祉施設等との連携	連携施設数	2施設/年	2施設/年	3
平均評価					3
7 組織・人 員	学芸員の資質向上	研修会への参加人数	10人/年	10人/年	3
平均評価					3
総合評価					3

第2次岡山県立博物館中期目標

—地域に生きる魅力ある博物館を目指して—

平成26年8月 策定<案>

岡山県立博物館

目 次

はじめに	2
1 使命と計画	3
2 資料収集と保存・活用	3
3 調査研究	4
4 施設の整備・管理	5
5 展 示	6
6 教育普及・学校教育との連携	8
7 県民参加の協働運営	11
① 広報活動の充実	
② 利用者のニーズや満足度を把握するためのアンケートの実施	
③ ホームページの充実	
④ 「岡山県立博物館友の会」の会員数の増加と事業の充実	
⑤ 県民が博物館活動に参加する仕組みとしてのボランティア受け入れと養成	
⑥ 関係機関や地域社会と協働の展覧会の開催	
⑦ 博物館協議会など外部意見の反映と外部評価	
⑧ 岡山カルチャーゾーン連絡協議会との連携	
⑨ 福祉の現場・老人施設等との連携	
8 組織・人員	13
9 財務・社会的支援	13
10 その他	14

はじめに

岡山県立博物館は、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に、昭和46年に設置され、以後、県民はもとより、岡山県を訪れる多くの人々に利用され、岡山県の歴史・文化の情報発信基地として、様々な事業を展開してきました。

しかしながら、昭和から平成となり、21世紀を迎え、博物館の存在意義が問われるなど、博物館を取り巻く環境が大きく変化してきました。こうした中、持続可能な運営を維持するため、平成21年3月に、平成25年度を中期目標とする「岡山県立博物館中期目標」を策定し、地域に生きる魅力ある博物館を目指してまいりました。

この5年間の評価に基づく成果や課題並びに岡山県教育委員会が平成22年に策定した「岡山県教育振興基本計画」、岡山県が平成24年に策定した「第3次おかやま夢づくりプラン」及び平成26年に策定した「晴れの国おかやま生き生きプラン」等を踏まえ、今後5年間の新たな中期目標を策定し、その実現に向けて努力していきます。

1 使命と計画

岡山県立博物館は、県内博物館の中核施設として、古代から連綿と伝わる輝かしい吉備の国の歴史と文化を保護保存し、県民共有の財産として後世に継承していくとともに、これらを全国に向けて情報発信することを使命とします。

この使命を遂行するため、「地域に生きる魅力ある博物館を目指して」平成30年度を目標年度として、岡山県立博物館のあるべき姿や目指す方向性を示し、安定した経営を行う工夫改善を行い、県民の信頼と支援を得るよう努力します。

2 資料収集と保存・活用

資料の収集・保存は、博物館の最も基本的な機能です。県民共有の貴重な文化財である資料を次世代に伝えるため、岡山県の歴史や文化に関する資料を中心に収集し、県民や博物館の諸活動への活用を図ります。

(1) 資料収集

- 資料収集は、購入、寄付及び寄託により行うことが原則ですが、本県財政の厳しい状況から、寄付、寄託を中心とした資料収集に努めます。
- 県教育委員会保管の県内出土文化財、文化庁所有の重要文化財についても、有効活用の観点から、毎年度、資料借用を行い、展示や調査研究に活用します。
- 長期寄託の文化財については、寄託者との連携を密にし、継続的に寄託されるよう努めます。

(2) 資料保存

- 収集した資料は、分類整理し、展示、調査研究、教育普及活動などに有効に活用します。
- 資料の良好な状態を保存するため、定期的に収蔵庫の点検を行うとともに、必要に応じて害虫・カビ等の防除対策を行います。
- 収蔵資料のうち、状態の悪いものについては、予算の範囲内で、計画的に補修を行います。

(3) 資料の活用

- 収集した資料は、本館の展示や県内・県外の各種展示に向けて積極的な活用を促進します。
- 資料の特別観覧（閲覧、撮影、出版物掲載等）等による収蔵資料の活用を図ります。
- ~~博物館法の改正に伴い、「岡山県博物館特別観覧規程」の改正を行います。~~ →削除

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
資料の購入	文化財の県外・海外での散逸を防ぐとともに、劣化やき損のおそれのある文化財を護るため、保存管理の措置を講ずる必要のあるものについて購入に努める。	資料の購入件数	0点/年	必要に応じ予算措置

寄付資料の受け入れ	資料の安全な保管と展示公開や研究の促進を図るため、資料の寄付の積極的な受け入れを図ります。	新規寄付資料の受け入れ件数	30件/年	随時申し出に対応
寄託資料の受け入れ	資料の安全な保管と展示公開や研究の促進を図るため、資料の寄託の積極的な受け入れを図ります。	新規寄託資料の受け入れ件数	6件91点/年	随時申し出に対応
資料の適切な保管	収蔵庫の定期点検や資料の燻蒸等により、資料の安全な保管に努めます。	収蔵庫等の定期点検回数	13回/年	12回/年
展示室の資料保存環境の点検	展示室の定期点検により、資料の安全な保管に努めます。	展示室等の定期点検回数	50回/年	50回/年
収蔵スペース確保の検討	収蔵資料の増加に伴う、収蔵スペースの確保に向けた方策の検討を行います。	収蔵スペース確保の検討	随時	随時
		整理・整頓	4回/年	4回/年
収蔵資料の補修	緊急に修理を必要とする収蔵品のうち、緊急性の高いものから各分野ごとに計画的に修理を実施します。	収蔵資料の修復点数	2点/年	2点/年
資料の活用	資料の館内展示や特別観覧（閲覧、撮影、出版物掲載等）等による収蔵資料の活用を図ります。	収蔵資料展示点数	2,757点/年	2,000点/年
		特別観覧利用件数	140件/年	150件/年
	博物館法の改正に伴い、「岡山県博物館特別観覧規程」の改正を行います。	規程の整備	検討中	平成21年度中に整備

3 調査研究

調査研究は、博物館事業の根幹をなす収集・整理・保存と展示や教育普及事業など博物館の諸活動を向上させるための重要な活動であることから、重点的に取り組みます。

- (1) 収蔵資料の学術的な研究を行うとともに、収集・保存・展示・教育普及事業など博物館の諸活動に関する研究を行います。

- (2) 県内外の研究者、資料所有者などとの交流を行い、館外の関連資料についても、幅広く調査し、調査研究成果や情報を公表します。
- (3) 学芸員は、調査研究計画を作成し、専門分野ごとに岡山県の歴史や文化に関するテーマを設定し、継続的に研究を行います。
- (4) 研究成果については、展示や博物館講座、教育普及事業などの博物館業務の他、学校教育と連携した館内授業や出前授業などを通じて広く県民に公開するとともに、研究成果報告書（研究報告）や博物館だよりなどを通して、県内外の社会教育施設や研究機関の利用に供します。
- また、このような研究成果を基に他館等への助言や展示指導を行うとともに、広く県民の求めに応じて、質問・相談等に積極的に対応します。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
調査研究活動の強化	調査研究計画を策定し、その成果を展示活動に活かします。	各学芸員の調査テーマの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)
調査研究成果の公表	研究報告等の出版のほか展示や教育普及活動を通じた成果の活用を図ります。	研究報告の発刊	1回/年	1回/年
		年報の発刊	1回/年	1回/年
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年
		平常展、企画展、特別展等の開催	12回/年	12回/年
		博物館講座の開催	7回/年	6回/年
外部研究機関等との連携	他の博物館や大学、研究団体等との連携による共同研究を促進します。	共同研究テーマ数	1件/年	2件/年

4 施設の整備・管理

岡山県立博物館は、開館以来43年が経過し、施設の老朽化が進行するとともに、施設機能や規模等の面でも県立施設としては、十分な役割や機能が果たせてない状況です。

このため、利用者が快適で安全な環境の中で過ごせるよう、施設の適切な維持管理に努めるとともに、耐震状況を把握するため耐震診断を実施します。また、高齢者や障害者及び外国人等への配慮した施設の改善に努めます。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
UD化の推進	エレベータ 玄関自動扉 点字プロッタ	設置 設置 敷設	実施済 実施済 実施済	H20年度末
	来館者用トイレ	改修	実施済	H21年度末
	階段手すり 受付カウンター 休憩室 案内表示板(ピクトグラム等)	改修 改修 整備 設置		H22年度末 H22年度末 H22年度末 H22年度末
安全な施設の維持管理	老朽化した施設の計画的な改善に努めます。	施設改善5カ年計画の策定	冷却装置交換	緊急性の高い事案から着手
	耐震化への取組	耐震化への取組		耐震診断の実施
外国人来館者への配慮	外国語表記の充実	案内板の他言語表記の充実	案内板に英語表記付加	中国語、韓国語への対応
危機管理体制の強化	防災意識の向上など危機管理体制のさらなる強化を目指します。	来館者事故数	0件/年	0件/年
		防災訓練の実施	2回/年	年2回開催
		安全衛生会議の開催	3回/年	年3回開催
		危機管理マニュアルの作成	(25年3月作成済み)	国等の検討状況を踏まえ対応
利用環境の向上	指定管理者による館内施設の利用環境の維持管理とその向上に努めます。	入館者の満足度	74%	90%以上

5 展 示

岡山県立博物館は、岡山県の歴史や文化をテーマとして、県民文化の向上や郷土に対する理解を深めるとともに、県内の博物館の中核施設として全国に情報発信するため、特別展、企画展、近県と共同開催する交流展など様々な展示活動を実施しています。

今後は、より魅力的な博物館とするため、県民ニーズに合った、時機を得た企画による展示を行い、貴重な資料や情報を公開し、県民の知的財産の増進に寄与していきます。

また、中四国地域や首都圏及び関西圏の博物館と連携を深め、博物館の相互連携活動の充実に努めます。

特に、入館者に展示の意図をわかりやすく伝える努力をするとともに、多彩な関連事業を実施し、入館者の増加に努め、中期目標として年間5万人の入館者を目指します。

(1) 特別展

- ・特別展は、県内で実施されるイベントや、地域社会との連携を考慮し、県民にとって、時機を得た興味を喚起するテーマを設定し、年間2回実施します。

(2) 企画展

- ・企画展は、学芸員の調査研究成果を発表する場でもあり、県民にとって魅力あるテーマやメッセージ性のあるテーマを設定し、年1回実施します。

(3) 交流展

- ・交流展は、これまでの交流展の実績を踏まえ、中四国地域の博物館との連携を深め、相互連携活動を充実させます。また、首都圏や関西圏の博物館との連携を進め、岡山の歴史と文化を全国に情報発信するよう努めます。

(4) 平常展

- ・平常展は、展示内容、展示手法を適宜見直し、部分的な展示替えにならないよう、考古、美術工芸、文書、民俗、刀剣、備前焼の各分野ごとに収蔵資料の有効活用に努めます。また、各季節展においては、特別陳列を1テーマ設定するよう努めます。更に、岡山県の歴史が分かる常設展示ができるよう工夫します。

(5) 実施上の留意点

- ・展示会ごとに、開催目的、開催対象、期待する効果、展示方法、広報活動等を勘案の上目標を設定します。
- ・展示解説や展覧会に関連する記念講演会や実演など多彩な関連事業を実施します。
- ・特別展については、図録の発刊を行います。
- ・関連する各種団体や地域社会及び市町村等の支援が得られるよう共同開催に努めます。
- ・報道各社との連携を密にし、開催期間中に頻繁に報道されるよう努めます。
- ・県民にわかりやすい展示方法の改善工夫に努めます。
- ・外国人入館者の増加にともない、UD化の一環として展示品の名称・解説等を多言語表記するよう努めます。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
特別展	県内で実施されるイベントや、地域社会と連携し、県民にとって、時機を得た興味を喚起するテーマを設定し実施します。	入館者数 実施回数 中期計画策定	11,051人/年 2回/年 5カ年計画策定	18千人/年 2回/年 5カ年計画策定

企画展	学芸員の研究成果を、県民にとって魅力あるテーマやメッセージ性のあるテーマを設定し実施します。	入館者数 実施回数 中期計画策定	4,119人/年 1回/年 5カ年計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定
交流展	首都圏や関西圏及び中四国地域の博物館との連携を深め、相互連携活動を充実させます。	入館者数 実施回数 中期計画策定	6,758人/年 1回/年 5カ年計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定
平常展	展示内容、展示方法を適宜見直し、部分的な展示替えにならないよう、各季節展では、特別陳列を行います。また、常設展示ができるよう工夫します。	入館者数 特別陳列 常設展示	10,623人/年 1回/各季節展	18千人/年 1回/各季節展 通年
各展共通項目	関連事業の充実を図ります。	記念講演会 実演等 展示解説	1.5回/1展覧会 2.3回/1展覧会 4.2回/1展覧会	1回以上/1展覧会 2.5回以上/1展覧会 4回以上/1展覧会
	展示方法の改善を図ります。	キャプション 解説シート 多言語表記 (名称・解説等) (名称等・キャプション・解説シート・展示ガイド、要覧)	24枚 名称等—1,946件 キャプション—254件 解説シート—24枚 展示ガイド—2冊 要覧—1冊	改善 30枚 英語・中国語・韓国語表記 名称等—1,900件 キャプション—200件 解説シート—24枚 展示ガイド—2冊 要覧—1冊

【入館者数実績】

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	備 考	
入館者数	特別展	12,418	12,749	17,674	19,237	11,051	
	企画展	20,785	7,969	6,760	8,676	4,119	2回→1回24年度～
	交流展	6,124	10,909	5,397	9,655	6,758	
	平常展	13,675	9,023	10,619	11,016	10,623	
	計	53,002	40,650	40,450	48,584	32,551	65歳以上有料 22年度～

6 教育普及・学校教育との連携

岡山県の歴史と文化に対する理解を深めるため、教育普及活動を計画的に実施します。また、小・中・高等学校の学習指導要領にもとづき、博物館を見学したり、文化財を観察したりする等の活動を取り入れ、学校教育での博物館利用を促進し、学校教育との連携に努めます。

- (1) 吉備の国ジュニア歴史スクール
小学生を対象に県内の史跡等をバスツアーで見学するとともに、県立博物館で関連の学習を行い、学習の成果を各学校で発表する（2コース、各3日）事業を実施します。
- (2) 博物館講座
 - ① スタンダードコース
県民を対象に、本館学芸員を中心とした職員が博物館資料を活用し、研究成果を解説します。
[2班、各4日間、4講座、定員：各70人]
 - ② スペシャルコース
県民を対象に、各分野で活躍する研究者による岡山の歴史と文化に関するテーマで講演します。
[4講座、定員：120人]
- (3) 体験学習
 - ① わくわく歴史体験ゾーン
子ども達を対象に、郷土や我が国の歴史に親しんでもらうため、参加体験型の資料により、遊んで学べる歴史体験ゾーンの充実を図ります。
- (4) 館内授業・出前授業
県内の小中高校生を対象に博物館で実物資料に触れたり、展示を見学したりしながら授業を行います。また、本館学芸員が実物資料を持って学校に出向いて授業を行います。
- (5) 展示解説
毎月、第2・4土曜日に本館学芸員が専門分野を中心に展示内容を解説します。
特別展、企画展、交流展においては、毎土曜日に展示解説を行います。
- (6) 博物館実習
県内大学を中心に、学芸員資格取得希望学生に博物館実習を行います。
- (7) 中学生職場体験
県内各中学校からの要望に応じて、中学生の職場体験を受け入れます。
- (8) 教員研修の実施
岡山県総合教育センターと連携し教員研修を実施します。
県内大学と連携し、免許更新講習を実施します。
- (9) 吉備の国文化遺産映像記録作成・活用
テーマ別に岡山県の歴史や文化を概観できる映像資料を作成し、博物館内での映像視聴や岡山県立図書館が

運営するデジタル岡山大百科での配信を通じて、広く利活用が図られるように努めます。

(10) ジュニア学芸員講座

中学生・高校生を対象に、将来の学芸員や博物館ファンを育成するため、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらう講座を実施します。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
吉備の国ジュニア歴史スクール	史跡や博物館をバスツアーで見学し、学習の成果を各学校で発表します。 (2コース、各3日)	実施コース数 参加児童数	23-73日/年 86人/年	23-73日/年 90人/年
博物館講座 ①スタンダードコース	本館学芸員を中心とした職員が博物館資料を活用し、研究成果を解説します。	開設講座数 参加受講者数	8講座(2班)/年 126人/年	4講座(2班)/年 140人/年
博物館講座 ②スペシャルコース	各分野で活躍する研究者による岡山の歴史と文化に関するテーマで講演します。	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 100人/年	4講座/年 120人/年
体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型の資料により、遊んで学べる歴史体験ゾーンの充実を図ります。	参加体験型資料の充実	23点	平成30年度末で40点
館内授業	県内の小中高校生を対象に博物館で資料に触れたり、展示を見学しながら授業を行います。	実施学校数 受講児童生徒数	44校/年 2,582人/年	60校/年 3,000人/年
出前授業	本館学芸員が学校に出向いて授業を行います。	実施学校数 受講児童生徒数	27校/年 1,923人/年	30校/年 2,000人/年
展示解説	毎月、第2・4土曜日に本館学芸員が専門分野を中心に展示内容を解説します。特別展、企画展、交流展においては、毎土曜日に実施します。	聴講者数	15人/1解説日	20人/1解説日
博物館実習	県内大学を中心に、学芸員資格取得希望学生に博物館実習を行います。	受け入れ学生数	15人/年	20人/年

中学生職場体験	県内各中学校からの要望に応じて、中学生の職場体験を受け入れます。	受け入れ学校数	10校/年	10校/年
教職員研修	岡山県総合教育センターと連携し教員研修を実施します。 県内大学と連携し、免許更新講習を実施します。	連携事業の実施回数 免許更新講習実施回数	4回/年	5回/年 2回/年
吉備の国文化遺産映像記録作成・活用	テーマ別に岡山県の歴史や文化を概観できる映像資料を作成し、広く利活用を図ります。	作成テーマ数	10テーマ	30テーマ
ジュニア学芸員講座	中学生・高校生を対象に、博物館学芸員の仕事を体験する講座を開催します。	受入生徒数	19人/年	20人/年

7 県民参加の協働運営

岡山県立博物館は、県民参加と連携を深めることによって、地域や社会から信頼と協力を得ることができ、社会に貢献することができます。このため次の事業を積極的に展開します。

(1) 広報活動の充実

博物館活動に関連する様々な情報をより多くの人々に知ってもらい、博物館の利用者が増えるよう広報媒体を関係諸機関（報道機関・学校・社会教育施設等）に好機に配布するなど、情報発信機能を強化します。

(2) 利用者のニーズや満足度を把握するためのアンケートの実施

博物館に対する県民の意見が、博物館の運営に反映するよう、年間を通して来館者アンケートを実施します。

(3) ホームページの充実

博物館ホームページ（フェイスブックを含む）を一層充実させるとともに、タイムリーな更新に努めます。

(4) 「岡山県立博物館友の会」の会員数の増加と事業の充実

友の会の指導・育成に努めるとともに、自主的な活動を支援し、充実、活性化を図ります。

(5) 県民が博物館活動に参加する仕組みとしてのボランティア受け入れと養成

社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う活動の機会を提供するため、地域住民の博物館活動への参画と来館者サービスの向上を図るため目的に、展示解説ボランティアや博物館活動支援ボランティアの積極的な導入に努めます。

(6) 関係機関や地域社会と協働の展覧会の開催

館単独での事業運営には限界があるため、地域社会と協働の展覧会の開催博物館運営や、複数の博物館の

相互連携活動を推進します。

(7) 博物館協議会など外部意見の反映と外部評価

博物館の運営に関し、博物館協議会の意見等を尊重し、館の運営に反映します。また、博物館協議会による外部評価を実施し、博物館活動の改善に役立てます。

(8) 岡山カルチャーゾーン連絡協議会との連携

岡山カルチャーゾーン連絡協議会の中核的施設として、他の施設との連携を一層強化し、地域の文化の向上に努めるとともに、ゾーン内の心豊かなまちづくりにも積極的に参画します。

(9) 福祉の現場・老人施設等との連携

福祉・医療現場では、高齢者が懐かしさを満喫し、互いの思い出を語り合うことで機能の回復や高齢者ケアを果たす「回想法」の活用が進められています。当館でも、収蔵する昭和時代の民具等の資料を活用して福祉団体との連携を図り、高齢者が笑顔にあふれ、生き生きと会話のはずむ博物館の利用を目指します。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
広報活動	広報媒体を関係諸機関（報道機関・学校・社会教育施設等）に好機に配布します。	記者クラブへの資料提供件数	25件/年	30件/年
		マスコミ取材件数	113件/年	120件/年
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年
アンケートの実施	年間を通して来館者アンケートを実施します。	アンケートの回収率	9%/年	15%/年
ホームページの充実	博物館ホームページを一層充実させます。	HPアクセス数	109,579件/年	200,000件/年
		内容の更新頻度	月1回以上	週1回以上
岡山県立博物館友の会	友の会の指導・育成に努めるとともに、自主的な活動を支援し、充実、活性化を図ります。	友の会会員数	352人/年	400人/年
		会員の継続率	前年会員の81.7%	前年会員の90%
		友の会事業実施回数	40回	40回以上

		特別展等観覧者率	2.7%	4.0%
ボランティア受け入れ	展示解説ボランティアや博物館活動支援ボランティアの積極的な導入に努めます。	展示解説ボランティア	11回/年 32人/年	10回/年 30人以上/年
		支援ボランティア	11回/年 26人/年	10回/年 30人以上/年
地域社会と協働の展覧会の開催	地域社会と協働の展覧会の開催博物館運営や、複数の博物館の相互連携活動を推進します。	共催団体数	1展覧会1.75団体	1展覧会2団体以上
		連携博物館数	2博物館/年	2博物館/年
博物館協議会	博物館協議会の意見等を尊重し、館の運営に反映させます。博物館協議会による外部評価を実施します。	協議会開催回数	2回/年	2回/年
		外部評価の実施	1回/年	1回/年
老人福祉施設等との連携事業	高齢者を対象に、民具等を活用した昭和時代を懐かしむ「いきいき講座」を開催します。	連携施設数 (館内への受入のみ)	2施設/年	2施設/年

8 組織・人員

岡山県教育委員会と連携を密にし、館内各課間の情報の共有化を図るなど、効率的な組織運営に努めます。また、職員の適正な配置に努めるとともに、職員一人一人の能力や資質の向上に努めます。

特に、学芸員は博物館の専門的職員として、その力量を最大限発揮できるよう能力開発・資質向上に努めます。

項目	中期目標の内容	評価指標	実績 (平成25年度)	中期目標値 (平成30年度)
学芸員の資質向上	定期的に研修会へ参加し、能力開発・資質向上や最新研究成果の吸収・活用に努めます。	研修会への参加人数	10人/年	10人/年

9 財務・社会的支援

県予算が単年度予算であるため、計画期間における各年度の事業費等を含めた総支出額を推計することは困難で

すが、施設運営の基本である入館料については努力目標を設定し、その達成に努めます。

また、本県の財政状況や「岡山県行財政構造改革大綱2008」に基づく予算編成方針から、県費の増額確保は困難ですが、積極的な事業展開や円滑な事業実施に向けて、文化庁補助事業による国費の確保や各種団体からの支援を積極的に求めます。

(ア) 参考

【入館料収入実績】

単位：千円

	H21	H22	H23	H24	H25	備考
入館料収入	4,571	6,112	7,697	8,677	4,300	

◎中期目標数値：8,000千円

平成22年9月から値上げ(65歳以上の有料化)

(イ) 参考

【社会支援実績】

単位：千円

項 目	H16	H17	H18	H19	H20
◇文化庁					
・重文公開促進事業補助		599	532		
・赤羽刀公開促進事業					2,500
・芸術拠点形成事業		2,500			5,442
◇福武学術文化振興財団					800
◇松平公益会					2,000

10 その他

(1) 事業実施の評価

当館の展示及び各種事業の効果については、今回策定した第2次中期目標に基づき、新たな評価指標を設定し、これらに基づく事業評価を実施します。また、評価結果については、岡山県博物館協議会へ報告し、外部評価も併せて行います。なお、第2次中期目標の進捗状況については、毎年度、岡山県博物館協議会へ報告し、意見を求め、業務運営の改善に反映させます。

(2) 第2次中期目標の見直し等

本目標は、平成20年6月の博物館法の改正や、平成20年12月に策定された「岡山県行財政構造改革大綱2008」等の諸事情の変化に基づき策定し、今回改訂したのですが、今後、県立博物館を取り巻く社会状況に著しい変化が生じた場合は、目標期間中にもかかわらず、必要に応じて計画を見直します。

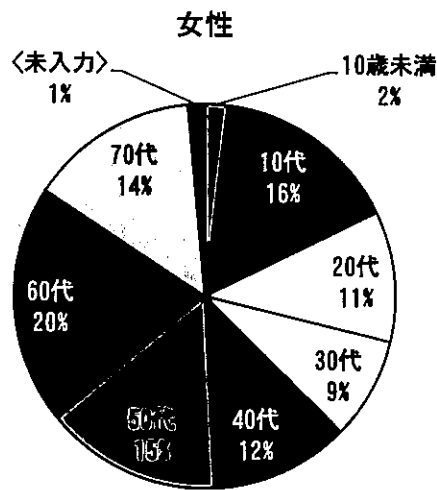
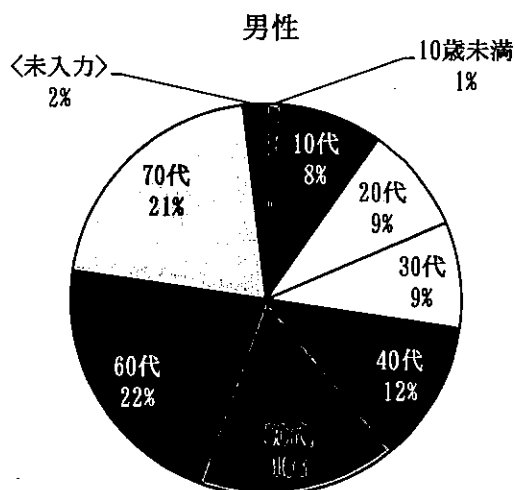
平成25年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅰ	4/1~4/14	895	90	10.1%
特別展「栄西」	4/19~5/19	5,796	569	9.8%
夏季展	5/24~7/21	3,399	282	8.3%
企画展「美作の名宝」	7/25~9/1	4,119	537	13.0%
秋季展	9/5~10/6	2,401	222	9.2%
特別展「Japan-漆の世界-」	10/11~11/17	5,255	402	7.6%
冬季展	11/22~12/23	1,674	203	12.1%
交流展「土佐の水とくらしー四万十川の漁を中心にー」	1/1~2/16	6,758	363	5.4%
春季展Ⅱ	2/20~3/31	2,254	269	11.9%
合計		32,551	2,937	9.0%

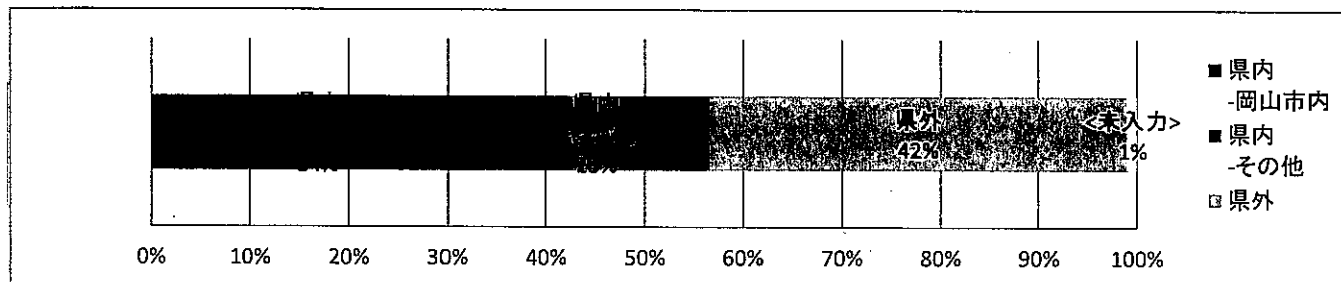
◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未入力>	性別合計
男性	24	159	167	166	220	314	412	393	36	1,891
女性	20	166	115	90	124	155	211	150	15	1,046
合計	44	325	282	256	344	469	623	543	51	2,937



◆住所地一覧

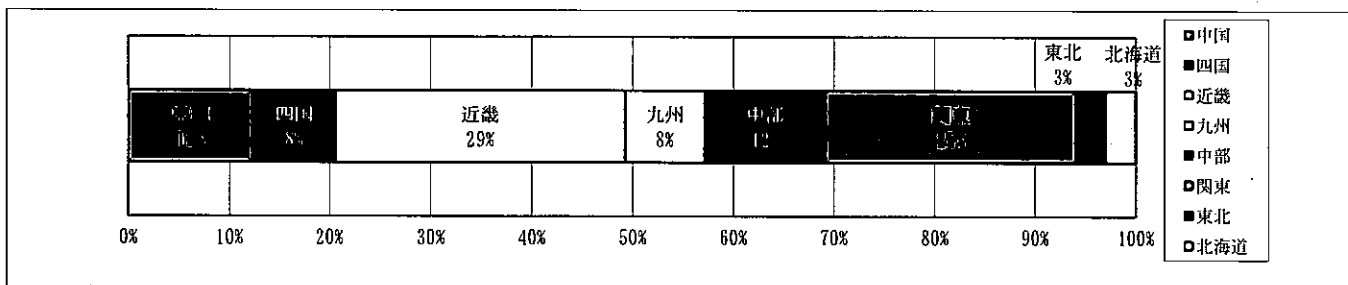
住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	<未入力>	合計
来館者数	987	668	1,251	31	2,937



◆県外地方別一覧

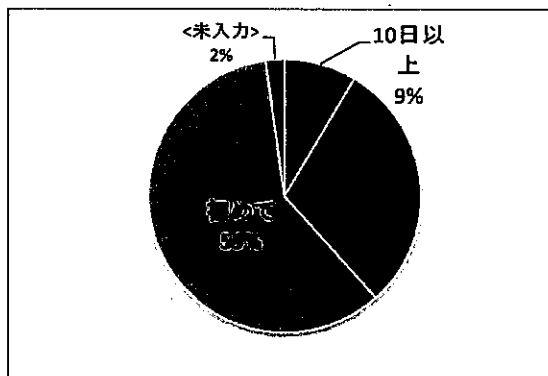
地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道
来館者数	152	101	352	97	148	306	36	37

1229



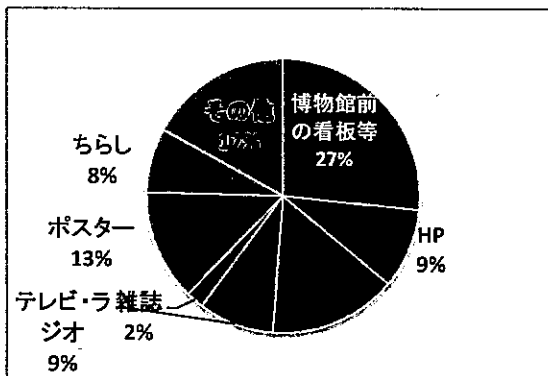
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	252
2～9日	872
初めて	1,748
<未入力>	65
計	2,937



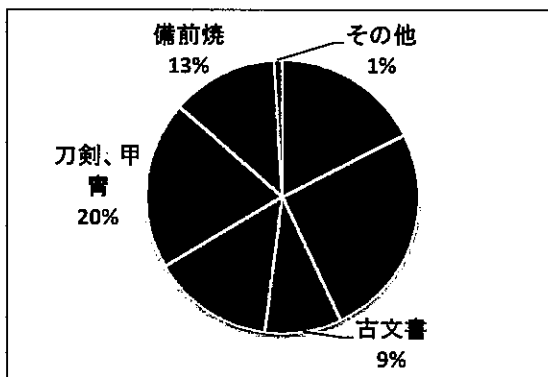
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	863
HP	304
新聞	493
テレビ・ラジオ	289
雑誌	69
ポスター	424
ちらし	247
その他	551
計	3,240



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古学	611
美術工芸	890
古文書	317
民俗学	503
刀剣甲冑	695
備前焼	441
その他	34
計	3,491



(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none">・古代吉備の実像、応仁天皇など、海人と道教・銅鐸や環頭太刀等の展示会をやってください・考古のもののどんなところを見れば何が分かるのか、視点をご教授いただきたいです・恐竜などの骨格・最近(直近)の話題の発掘を紹介するコーナーを続けて欲しい。・古代の道、駅家、古代王権の成立過程など
美術工芸	<ul style="list-style-type: none">・郷土玩具展、法然上人展、岡山出身の画家の作品展・岡山県内の木工品。県内の焼き物(備前は除いても良い)・密教美術、仏教美術を希望・らでん細工の品・美作に続き、旧国名単位の文化財展・浮世絵、東海道五十三次の絵が鑑賞できれば幸いです・焼物、萩焼、楽焼、唐津焼等々宜しく・水戸岡鋭治氏のデザイン展をしてほしい・昔のお姫様展などあこがれます。
古文書	<ul style="list-style-type: none">・地図、伊能図や古地図・古事記、日本書紀にちなんだもの・荘園絵図・海外の古文書・戦国時代の文書
民俗	<ul style="list-style-type: none">・昔からの食物・料理・戦争の歴史・生活にまつわる民具、暮らしの変遷に関するものなど・武士のくらし 城下のくらし・九州のおんた焼など、民芸も扱っていただければ……・明治～昭和の近代史のコーナーをもっと見てみたい
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none">・太刀と刀の違いがわかるように、太刀をたくさんおいてほしい・天下五剣が見たい・いつも、上出来の刀ばかり見ているので、駄作の刀も展示して、素人にもその違いがわかるようにしていただけたい嬉しいです。
備前焼	<ul style="list-style-type: none">・古備前から近代現代備前焼・速水流茶道と備前焼の茶器・有名な備前焼・名工展
その他	<ul style="list-style-type: none">・これは当博物館の範囲外のものかも知れませんが、幕末・明治に活躍した学者を取り上げてはいかがでしょうか。山田方谷、西山拙齋、阪谷朗廬、西徹山、三嶋中洲、川田甕江等々、著名な学者は数多くいます。私の知る限り、これらの学者をまとめた展示会の記憶はなく、また、目録も知りません。・池田家の展示がほしい・児島五流導院→天皇とのかかわりなどについて知りたい・子供のよろこぶ企画？考えてください。・博物館をもっと今日的な作品を展示するようにはできませんか・交通、物流について

(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none"> ・古代吉備の実像、応仁天皇など、海人と道教 ・銅鐸や環頭太刀等の展示会をやってください ・考古のものどんなところを見れば何が分かるのか、視点をご教授いただきたいです ・恐竜などの骨格 ・最近(直近)の話題の発掘を紹介するコーナーを続けて欲しい。 ・古代の道、駅家、古代王権の成立過程など
美術工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土玩具展、法然上人展、岡山出身の画家の作品展 ・岡山県内の木工品。県内の焼き物(備前は除いても良い) ・密教美術、仏教美術を希望 ・らでん細工の品 ・美作に続き、旧国名単位の文化財展 ・浮世絵、東海道五十三次の絵が鑑賞できれば幸いです ・焼物、萩焼、楽焼、唐津焼等々宜しく ・水戸岡鋭治氏のデザイン展をしてほしい ・昔のお姫様展などあこがれます。
古文書	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、伊能図や古地図 ・古事記、日本書紀にちなんだもの ・荘園絵図 ・海外の古文書 ・戦国時代の文書
民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの食物・料理 ・戦争の歴史 ・生活にまつわる民具、暮らしの変遷に関するものなど ・武士のくらし 城下のくらし ・九州のおんた焼など、民芸も扱っていただければ…… ・明治～昭和の近代史のコーナーをもっと見てみたい
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none"> ・太刀と刀の違いがわかるように、太刀をたくさんおいてほしい ・天下五剣が見たい ・いつも、上出来の刀ばかり見ているので、駄作の刀も展示して、素人にもその違いがわかるようにしていただけたい嬉しいです。
備前焼	<ul style="list-style-type: none"> ・古備前から近代現代備前焼 ・速水流茶道と備前焼の茶器 ・有名な備前焼 ・名工展
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・これは当博物館の範囲外のものかも知れませんが、幕末・明治に活躍した学者を取り上げてはいかがでしょうか。山田方谷、西山拙齋、阪谷朗廬、西微山、三嶋中洲、川田甕江等々、著名な学者は数多くいます。私の知る限り、これらの学者をまとめた展示会の記憶はなく、また、目録も知りません。 ・池田家の展示がほしい ・児島五流→天皇とのかかわりなどについて知りたい ・子供のよろこぶ企画？考えてください。 ・博物館をもっと今日的な作品を展示するようにはできませんか ・交通、物流について

(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none">・古代吉備の実像、応神天皇など、海人と道教・銅鐸や環頭太刀等の展示会をやってください・考古のもののどんなところを見れば何が分かるのか、視点をご教授いただきたいです・恐竜などの骨格・最近(直近)の話題の発掘を紹介するコーナーを続けて欲しい。・古代の道、駅家、古代王権の成立過程など
美術工芸	<ul style="list-style-type: none">・郷土玩具展、法然上人展、岡山出身の画家の作品展・岡山県内の木工品。県内の焼き物(備前は除いても良い)・密教美術、仏教美術を希望・らでん細工の品・美作に続き、旧国名単位の文化財展・浮世絵、東海道五十三次の絵が鑑賞できれば幸いです・焼物、萩焼、楽焼、唐津焼等々宜しく・水戸岡鋭治氏のデザイン展をしてほしい・昔のお姫様展などあこがれます。
古文書	<ul style="list-style-type: none">・地図、伊能図や古地図・古事記、日本書紀にちなんだもの・荘園絵図・海外の古文書・戦国時代の文書
民俗	<ul style="list-style-type: none">・昔からの食物・料理・戦争の歴史・生活にまつわる民具、暮らしの変遷に関するものなど・武士の暮らし 城下の暮らし・九州のおんた焼など、民芸も扱っていただければ……・明治～昭和の近代史のコーナーをもっと見てみたい
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none">・太刀と刀の違いがわかるように、太刀をたくさんおいてほしい・天下五剣が見たい・いつも、上出来の刀ばかり見ているので、駄作の刀も展示して、素人にもその違いがわかるようにしていただけたら嬉しいです。
備前焼	<ul style="list-style-type: none">・古備前から近代現代備前焼・速水流茶道と備前焼の茶器・有名な備前焼・名工展
その他	<ul style="list-style-type: none">・これは当博物館の範囲外のものかも知れませんが、幕末・明治に活躍した学者を取り上げてはいかがでしょうか。山田方谷、西山拙斎、阪谷朗廬、西微山、三嶋中洲、川田養江等々、著名な学者は数多くいます。私の知る限り、これらの学者をまとめた展示会の記憶はなく、また、目録も知りません。・池田家の展示がほしい・児島五流→天皇とのかかわりなどについて知りたい・子供のよろこぶ企画？考えてください。・博物館をもっと今日的な作品を展示するようにはできませんか・交通、物流について

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

<展示関係>

- ・岡山県の歴史に近づけた。展示物をもっと増やして欲しい
- ・入館料の割に質の高い展示が見られました
- ・岡山の伝統美を種々の観点から拝見できました、はじめてなので全て印象に残りました。
- ・知らないことばかり。なんでも興味をそそられる老人になりました。
- ・部屋ごとに分類され、説明がわかりやすい
- ・展示会 & 後楽園のセットで観光楽しめるのは魅力的だと思います
- ・館蔵している物や、預かって保管している物の手に入ったプロセス、前の持ち主などの説明があればもっと良いのに。
- ・古文書の解説文の添付は文字を大きくして欲しい。
- ・木簡は裏も見たい。
- ・最近、仏教美術の展示が多いです。

<施設関係>

- ・隅々迄目配りされていて好感が持てた。
- ・ムービーライブラリーは非常に良い。感心感心。
- ・建物が古くて暗い。後楽園から丸見えなのがいただけない。もっと観光客を意識した施設、内装、雰囲気にするべき。(照明が暗いという意見他多数)
- ・東博などは撮影出来るのに撮影禁止の理由がわからない。
- ・エアコンの効きが悪い。(9～10月のアンケートにて館内が暑すぎるという意見他多数)
- ・陳列ケースのガラスが、照明の反射があって展示物が見づらい。

<その他>

- ・看視員の方が静かに対応しつつ、親切で楽しい一刻をすごせました。
 - ・来場者が少なく、ゆっくり出来たが、県民がもっと活用出来たらと思う。
 - ・お正月にも開いてもらって、ありがとう。皆さんごくろうさまめったに出来ない県外人にチャンスをいただきました
- 今年からお正月に開館を実施されて大反響だったとのこと。後楽園と城とを回遊でき、来年もぜひお願いします。
- ・「後楽園と博物館はセットです」と宣伝されたし
 - ・アンケートの意図が判りません。
 - ・子供たちを受け入れるように工夫したらどうでしょうか。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成25年2月5日～平成27年2月4日）

平成26年7月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	森 寺 勝 之	学校教育関係者	吉備中央町立大和小学校長	H26. 7	新 任
2	市 坡 よし子	"	倉敷市立玉島西中学校長	H24. 7	
3	松 下 晶 子	"	岡山県立笠岡高等学校長	H25. 7	
4	丸 池 宣 子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会副会長	H25. 2	
5	岡 本 啓	"	岡山県生涯学習センター所長	H25. 7	
6	延 江 典 子	"	岡山県青年協議会副会長	H25. 2	
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21. 2	
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21. 2	
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株) 山方永寿堂代表取締役社長	H23. 2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科准教授	H23. 2	
11	光 本 順	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26. 7	新 任
12	吉 本 正 志 (号) 正	"	日本工芸会中国支部幹事長	H23. 2	
13	高 谷 万知子	"	山陽放送(株) 編成業務局メディア企画部参事	H17. 2	
14	清 水 玲 子	"	(株) 山陽新聞社編集局文化部長	H26. 7	新 任
15	原 田 唯 良	"	岡山県議会議員	H24. 7	

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
岡山県条例第47号

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
岡山県教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	山田寛人	平成26年4月～

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考	
館 長	谷 名 隆 治	平成26年4月～	
副 館 長	三 宅 克 広	(学芸課長事務取扱)	
総 括 参 事	片 山 明 浩	(総務課長事務取扱)	
総 務 課	主 任	瀧 元 弘 美	
	主 任	友 定 治 道	平成26年4月～
	主 事	清 水 美 緒	
学 芸 課	副 参 事	竹 原 伸 之	
	主 幹	内 池 英 樹	
	学芸員 (主任)	佐 藤 寛 介	
	学芸員 (主任)	重 根 弘 和	
	学芸員 (主任)	和 田 剛	
	学芸員 (主任)	野 田 繭 子	平成26年4月～